

Kodak

© The Tiffen Company, 2000

KODAK Color Control Patches

LICENSED PRODUCT

3/Color

Black

Centimetres

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

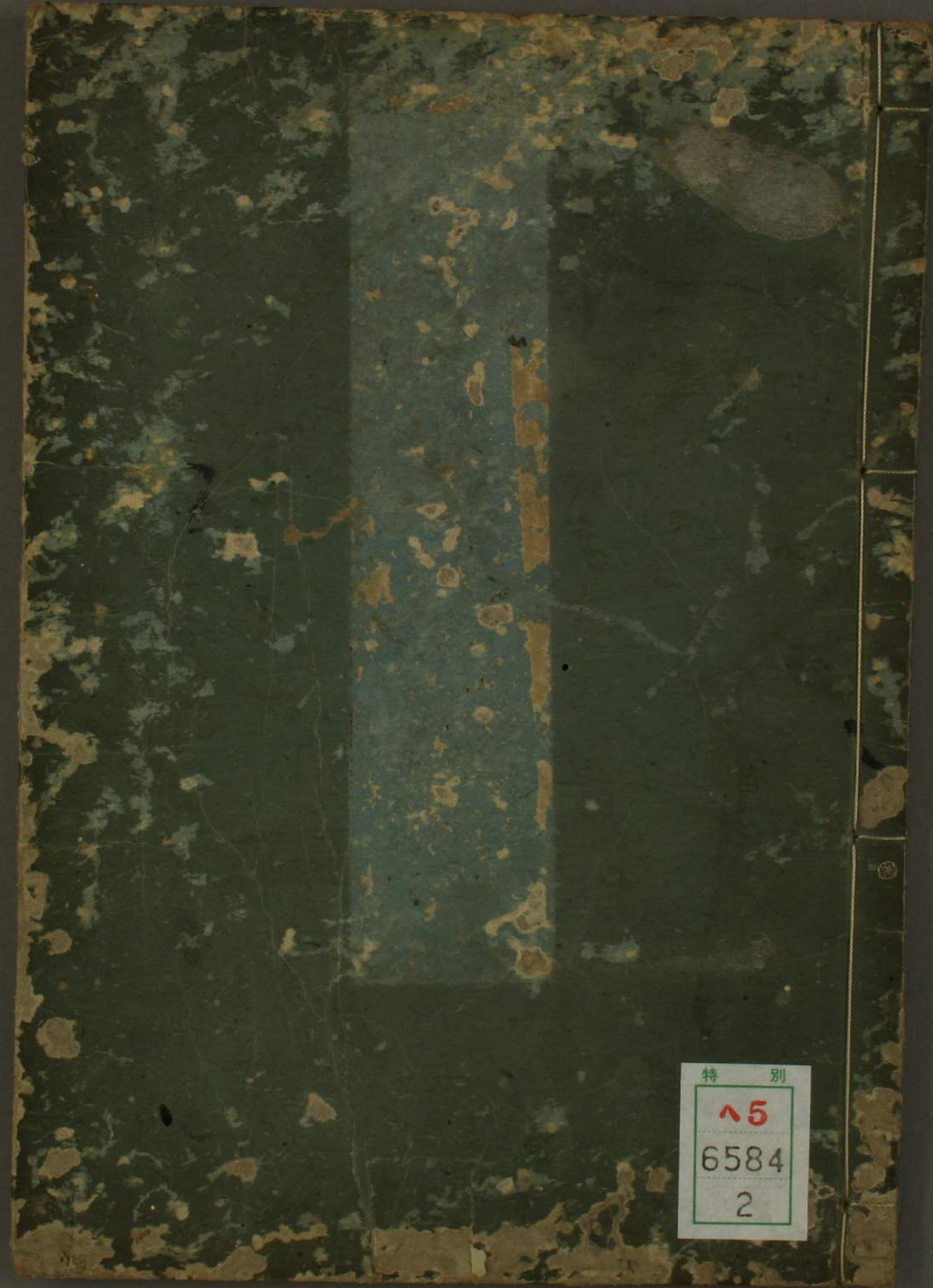
Black

A 1 2 3 4 5 6

M 8

19

B 15 17 18



特	別
^5	
6584	
2	



6584
2

五江

古松主

< 98-199 >

Vertical text on the left page, likely bleed-through from the reverse side. The characters are faint and difficult to decipher, but appear to be organized in columns.

子代睦月集 秋

氣

立秋 秋風 七夕

盃蘭盆 灯笼 付是火 踊

相摸 一系 柿柳 桐

芭蕉 山茨菰 花火

秋園 虫 野分 名煙草

菊 胡貝 落

旁 德蓼 竊取花 菊

女吊花 紫 素媛

月 秋夜 稻妻 存 鷓

鴨 鶉 秋田 白栗山子 木綿

九月九日 醜醜系 菊

九月十三夜 掛衣 藪

木実 紅葉 雪襖 雜

み代正月集 秋部

立秋



布給あつとさうらぬと朔乃秋
秋とと翁うちいも破きて定の風

柳燕
和列 菖蒲村
聖風

好風

ひさし孫やおふとらん秋乃を

破はさるる
秋月

七夕

とり姫よとつとさ常やのる具

女房
琴雪

はらさ君乃とさつたや夫の何

但泥

たささこのうらさきりさぬ親子が

江戸
露峯

あつとあつと君やとさるる君の富士

似船

鐘響よりとさつたれめさるは夜

粗吐

おれらつとさつとあつとあつと

車雲

ほしあつとさつと握乃おつと記うお

似船

あつとあつとさつとあつとあつと

同

あつとあつとあつとあつとあつと

同

煉乳の夜もあはれをそのゆゑに一踊

但州

一舟

侍女あゝ多ふうゝむをとりて

和州坊城村宿民

一舟

陰陽ありて環乃持るに踊り

サヤハシラ

鞘一趙

ヨヒ

趙

梢

里洞

海邊に侍一周忌真弓

おもひ出んうたせ乃ととり一周

似舩

お摸

サ

捍一握

ギト云モ

持一挨一投

里洞

一葉

と細きともや釣瓶よまに一葉

掖は三葉

美羽

秋柳

柳をくあささうと何ふさうさか

柳はさう堂

美羽

桐

芦月庵月次

三つ月よ持るぬ桐乃落葉

一睡

芭蕉

とせとくあまの落乃こまらさる

山木

清伝乃とてよひよあまのう色葎式

山舟

山茨菰

誰タカ袖ソテハ酸ホウツキ漿キ室子ヤ

里洞

忍灯乃そのよすそとら娘の家

辨古

濛ホウ汜ヒ藏ホウツキハ滑サタカテラス酒サラスニ

里洞

けふ火

掲ひとらふをがらりあつた花あうか

光山

秋園

魂あつたまはうらむむ古園

風

香

そめりひはたさくやう也古卒於海

付桂

神ワレリテ譚タスク蝉カキソラ碑ヒ俾ツカイ

里洞

群分

人魂をほきまらうたる聖を式

光山

水海乃海也群分れあさたなり

井水

暴ノワキ晃テラス星ホシ昆ノチク景ケイ

里洞

あたること

お守

莞

藩

茂

若

若

里洞

草む

芦月庵ちり此殿園家よりむりて

銀糸匙乃世よ耀る花のち種が

似舩

胡顔

あやうかとらんで落くら隙の駒

但引る田
可言

物形乃うきよひのそく一垣牛

ウニ
似糸

少別乃あさうかきくももの落

白ひま
花影

親とらやほをおうか乃是のあひ

ウニ
尚宗

何とらやほをうほくたも二並をほも

甲府
白鷗

お守
塹 塹 塹 塹

いろま
里洞

胡うがりいあけ初らふあけびう那

回
柳江

薄

あさうかきくももの落

破ちつるあけ薄乃あさうかきく那

お守月
薄糸

牛乳をてらむむよふふきり那

のこら 麩之

まのうねて身よも^{オキ}掩ふかまふれ

回 清酒

霧

ひと丸の本像とえううんれ

あま 雨望よめて

あまの霧乃浦やせり^ナ吹く松の風

似船

徳蓼

むあゝして徳蓼まもひらやう解

徳 徳木

鶏頭花

百人一首 壬生忠岑の文字哉

鳥の乃あやまうたに鶏頭花

但此

うとらあゝ^ウ鳥のや若ふ鶏頭花

行益

茗

追薦り

茗のくふ涙あゝ^ウ百年の憂

破 鮮古

字は乃のうて

芳花紫乃くらくむつくうは乃山

舟水

女郎也

とくまへ一聖也やとぬ乃紫鏡

猿尾

蘭

紫花さきく一思安まつくふ女乳

三舟

梅嬭

梅りく記雪さきむいめくろ

周々

月

文月のちめはくこくろくろ

ちかこるひくろくおらあて

ちたふくならはれハ

玉花結やむきの魚てくろ秋の月

琴雪

七糸あうあよほくろ人の影よ

て後七糸后温子乃官女花の

鏡と泳く中と思ひおく

停機がくろく一の鏡と秋乃月

似船

草亭れらまういさ月の別な式

一睡

酒月やさくらを町も山とあり

折川巻余那門
梅園

友貞梅枝母の書よらとわら

ととわらひてすつらうら

あひさや月やれとは秋あつせ

似船

月流して夢も有るふは煙う那

成取新居
気帆

うれおてあて記ならふ月見か

江
嵐吹

名月とらふまうと

浦のさうこ月やうとあへ頂ナあり

似船

八月十五夜

名月お色やまを乃まはうら

星洞

名月乃餘情を松のうやひう那

ひう
皮如

名月よお色をうらやまはらう

肥後
扇之

あつらはよらふとをねうらう月

巧
吟水

あつらひとめをうらまはりよ

月とらひらうらわらに執事介

あつら
政意

あまの月の夜やるあまの月

甲洞

あまの月やうた世にほれあまの君

似船

あまの月よまの月の海をわし

女房
似船

あまの月や産乃 産乃のまゝん所

窪洞

あまの月の影を

あまの月の影をまの影を

加刺
自矢

秋夜

こたこのあまの月をあまの月

ひう
一唯

あまの月乃 痛くはあまの月

但馬たこ村
廓登大

いふはま

痛書やとくしてあまの月

いふはま
井水

いふはまのあまの月をわし

た
一吐

いふはまのあまの月をわし

加刺
海帯

存

あまの月乃 月次

水笠乃 雨の月

海源

鴟

類字

離 トラク

睢 ニヨ

維 ツナク

雅 ヲクテニ

睢 モカ

毛

鸚鵡 カウ 鸚鵡 カウ 鸚鵡 カウ

鸚鵡 カウ

鸚

鸚 カウ 鸚 カウ 鸚 カウ

潤口

秋田 何素山子

欲 カウ 欲 カウ 欲 カウ

大板照言の 芦舩

とり カウ とり カウ とり カウ

能別 菊海

月次 カウ 月次 カウ 月次 カウ

痛 カウ 痛 カウ 痛 カウ

似船

本條

上 カウ 上 カウ 上 カウ

別日登四登 康欽

神 カウ 神 カウ 神 カウ

里向

九月九日

蜀 カウ 蜀 カウ 蜀 カウ

但廣

まづ少神よりひきおこす菊

唐家

まづ是やぬくと神乃うらみ

似船

早まあぢい日月とておこす菊の殿

同

うほむしんをさす森も菊乃水

同

醍醐奈

醍醐タイ 醍コ 醍ク 配ク 醇ニ

醍醐

ナニ

おかしう記菊よそのうり星乃光

聞如

菊乃花や妙籠よ漣ふをたふ

里洞

よ狭ふをう浪回申好ま唐

あま乃温泉あまおぼえ

うさふ草月唐よおなり侍

比ま九月十日あまうりかた

菊を歌くり侍

浪うら菊やさうらう浪

似船

好ま唐の侍あま侍り

落葉をばあふ乃こやの袖をあか

夕

あま ウチノ 蛙 ミチノ 子 ウケ 瓜 コノ 虫 シキヲ

里洞

は鶴好まき居て居たるあま

乃日方まうりぬく若こころ

ふれ八月の袖あはらふま

て悼の物うそてうそこの心

はらりてり

拾ふるまのあつらひのあ狭推

似船

紅葉

新 キタハ 格 サシ 擬 モミチニ 楓 コノ 標 サホ 棹

里洞

暮秋

ひらりぬいあつらふく秋乃れ

美宣

うたへてく人よりの秋のくれ

孫ト

四句れ留乃鐘のあはらむ秋の音

似船

雑

あま フシテ 揮 キスニ 禪 ウツクレ 嬋 トキ 俚 ハスノミ 皤

里洞

梅香担仕乃父方まうり

終つる比ヤはつりくろ時ハ

秋のまゝあれハ

うす海やあまこの蘆屑神ハ秋

秋乃末はくこあつ浮方ハ

あつちめうあたまうつる秋

悼こりとりり侍る

実^ニよ秋乃あまこくわさぶらうはく

似船

向

子代正月集冬

題

初冬 時雨 歸花

落葉 寒草 霜

茶花 葱 水仙花

埋火 冬月 線子

衾 彭巾 子鳥

網代 炭竈 沙

電 禱扣 雪

獵梅 神樂 常分

年内立春 歲首 雜

子代正月集冬部

初冬

あもや海とおやまう初冬

似船 安静

まの襟を代んせうたりと

似船

初冬乃おん佛多う初冬

似船 阿多

神のあもや

似船 正義

あもやうらやねはる後神社

似船 正義

時雨

昔年のあを初まの神あれて

ながら乃しうと深よとつれ

似船 但泥

これをもねよ世信やく時あふ

似船 山舟

三舟もや女まあうむいれ

似船 如風

むいれ笠奪りうとあふま

似船 扇之

浦あふうとあう人あま

あうとあふはうりて

神のうれあまのうら目しあ

似船 勝位

ちやうと火桶やぐまり神一
あれまり瘦ヤセ一重ふじ一
薄紙もふらねよはじり一西乃窓

辛月彦月次よ

ふきつふきつれ葉さう一さうれ

一里塚さうさうまれ夕一

初ハツのハツさうれさうさうさうれ

樹ツ停トム一復カスガニ一漏ユル一浼アク

一睡
江別一
宣仲
積後三系

落夕

山本

落吉

里洞

夕ツキ山ヤマ可カを傘カサさうさうさう
むぢらうムヂラウやヤふらうらうに水ミヅ母ハハ

家イヘの葉ハの飛トビ入イリてテ写シるルれレ

ももさうモモサウ糊ウさうサウとトももモモさうサウ母ハハ

歸カエ心ココロ

人ヒト在ア氣キとトまマ糊ウはハやヤかカるル心ココロ
かカるル心ココロをオ家イヘ乃ノ飛トビさうサウ夕ツキ目メれ
隠カクレふフ世セさサらラりリ一ヒトろロやヤ冬フユさサらラ

似ニ船フネ
阿ア茶チヤ

古コ水ミヅ
昔後

一ヒト跨カキ
積後

三サン舟フネ
肥後

柳ヤナギ江エ

枯幹ふさじの勢とつらむ

但院

落葉

蓑をぬきてさつじおちる葉の如

高田大江
蛭平

あつち小種乃みちちる葉の如

晨鷄

人お世もろれお落葉の如れら

甲府
白鷗

返薦

紅葉ちり位牌のころはせう那

平屋下
似雲

ころころのころころやねね音

ひらまね
井水

あつち小の星をさふあるの那

ねね
扇之

ころころ乃の星をさふあるの那

細長
解古

笈とらあて落葉撰おとそまらぬ

いり
康秋

あつちや幸初葉よけつ輝のころ

か別
落葉

双林

あつちやうらよ皆乃あまはら

巴
孫卜

元禄六年十月ぬらぬをま

二千ぬ回忘といふ真のりよ

辛卯海の等々といふるは海客が

似船

草月庵よりありてまた本

くりの人磨きまもりま

海客の等々ありて里のゆめ

月

泥垣院殿の縁の山を

ありてまゝまゝの目ま

侍りくるふ野を

聖なるやも紫をりて松乃風

日

雪の香

あゝとて静を

きりて文字のいふところ

和代
扇之

雪

草月庵より

遠くを我のちりて乃小

柳燕

似船位家を下京の

思ひらぬをりて和の

尚書

類字

皚シロ | 皚タヘ

皚シラ | 皚シロ

皚カ | 皚ク
ウツクテテリ

皚シロ

星洞

茶心

ちや心もや心より坊主の心より

心シロ | 心シロ

葱

あもむねの風を志海に葱子心子水

但廣

水仙花

あうくくくあんああああ

特別二茶を
申渡

あ仙や都まうくくああ

日中村
以好

水仙よひあした蝶乃くまの心

白河
康欣

茶心者の心より

すいせんや茶の心より

似船

埋火

ま可乃まを思ふ人より

極よほしてなくやまの心より

海

なまはる人より

炭ついでに茶心乃心より

似船

冬湯者の不潔なり

炭の香や燵をまつ三月夜は

似船

多つのもろ人むつゝたふらふ

山舟但列三田

みよこの好男とよひ火桶乳

但陀

冬月

みよの好乃月や落葉の時あり

里洞

綿子

敷字 襦ニシテ 神ニメ 祇ヨリホヒラ 襦ワタラ 袴ズリ

同

衾 付ふん

親れ思はるるおまらぬしをば

衾被ふふん 木

うぢあし人を悼て

あそとらんあむむやあ乃夕燵

玉堂あそとらん

新字 奈コトシ 奈ヤブル 奈フスミ 奈ヨアケ 奈トリ

里洞

頭巾

新字 顛タラシミ 顛ウメフトキハ 顛ツキナ 顛カタク 顛ツキニシ

同

同 治アサハク 縑カトリシ 紅モミ 縑ナカ 縑ツキニ

同

水

ゆき南星也さうと濱のそちりり

若くは付夫中
如海

水

新字

ナラコト

オホキ

ミナシモ

カモヲヨヒ

トリヲユク

里洞

あきれさるよめさめう床まぬりぬ

補注三系

羨臨

網代

水奥よりとも海に寄るともよ網代也

補注三系

南月

炭竈

さうと海に寄れらるる乃ちあり也

一睡

阿形但唐真可也

炭竈とよくなるよう海に都りぬ

似舩

松や〜島岩乃炭の海り〜地流

同

水

水多成沖へさうと出たなりや

補注三系

難古

厚砂海にれ飢き〜海ま〜起りぬ

二飯

芦舩

水

カリス

イカハ

ミヒ

ウツ

コホリヲ

里洞

電

磯崎や穴まよひとらぬあられ

磯崎

ひらりちもて根巻よけそよあは

似船

祥扣

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎

雷

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎

日乃津新やあつめやあつめ

但虎府内平野
一の笑

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎
猫角

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎
雨之

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎
英宣

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎
担比

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎
叱好

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎
如心

あつめやあつめやあつめやあつめ

但虎
政也

川

川

雪の夜をわらひ女乃あまけりぬ

雪はあま
秋水

さうゝ免てあまあつらん若

許へりまろ

床まの神事よりあまの姿の如

似舩

布衣の色成同くむつめされ

そはたけお羽
妙法

竹打て一きふきく一巻のゆき

上坂
淡雪

汐とた乃雪のまろれと物より

雪はまろ
海竹

月くはあまのそめまろ煤をらひ

月列さ田
一下

新字
𪛗ネウチ 𪛗カハ 𪛗ウラハ 𪛗トコホル 𪛗コイレニ

里洞

み糸の指にむら白いりふ乃

まーまてあめ

似舩

煙のふき雪の清氷茶屋はらき

獵梅

まの空乃雲新若ふたふ師をた

雲はまろ
气帆

さの昔世信るに梅乃さうされ

但沈

むつ〜日あつてもむ〜神を梅

ふんこま
持蓮

川

川

かくも乃くうらそ海ぬ師をくれ

鮮古

終年ハ幸さうもくそく乃霜

周夕

あさうかと芳ひしすよ平の昔

柳白

み奈さうあまうはりゆま

とくぬぬ

たそくぬや梅の程ふか年忘れ

似船

ゆくところ聖のひもぬ師をが

鮮古

結 涂 証 浦 泊

里洞

とく乃られ何うふはくそ河柳

似水

子浅れどく目鏡つこち師をが

鮮古

氣のくくふ物を師を乃幾年が

同

人々を能はるしすこち師をが

同

中く乃られ巧波の窓門をむんが

似船

雜

百人一首 飯原義孝と

君らため河豚くうぬぬらうぬ

但泥

類字 りと菜と

茂 オイカニロミ 菊 キクヲ 蘭 ソノ 莖 クキ 菜 ナ

里洞

衿 モスツ 冷 サレシ 吟 キテ 齡 シホ 吟 ウリ

同

睨 ニル 峴 ヤマ 倪 カキリヲ 鯢 クニヲ 鯢 フナ

同

ふくせ

貽 ノル 始 ウテナニ 鮎 フクハ 殆 チカニ 伯 オロカナルニ

同

通 ミチ 煩 ワラハシ 顔 カホ 顧 ミセ 項 コロ

同

師をの物うり

川

貸 ホトコス 資 タカラニ 貴 タカラヲ 賁 カサリ 賣 ウリ

同

きり程あつや胡のあまきり
てきりひやせききりて作りを
ひりりきりきりきり乃緑りか

行益

野風

玉平

あつ人新雨降りきり布袋

八日

一日

乃繪より記つる

わちこれそそお曉のうらたか

似船

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

山

山

光

三

氣

付物